information

富士市民活動センター　コミュニティｆ
コミュニティｆは富士市内の市民活動を応援するための施設です。

団体登録 要
事前予約 要

ミーティングルーム

節電対策☆　空気循環のため、パーテーションは最小限。

常時は１ブース12名の配置ですが、人数や会議スタイルによって50名ほどまで対応できます。

団体登録 要
事前予約 要

特別会議室

節電対策☆　なるべく扉開放。
エアコンの効きが悪いことをご了承下さい。

定員12名の完全個室の会議室です。経営的な会議や、相談業務などにご利用下さい。

団体登録 不要
事前予約 不要

フリースペース

ネット閲覧PC3台常設。自動販売機もありますので、ちょっとした打合せや休憩にご利用下さい。

印刷サービス

オルフィス

片面・両面印刷対応。資料作成などにご利用下さい。

超厚手マットも新登場!!

（※注）印刷は合計10枚以上からのご利用となります

	普通紙	厚手マット紙	両面加算
白黒 A4	3円	6円	2円
白黒 A3	4円	9円	2円
カラー A4	11円	14円	10円
カラー A3	12円	17円	10円

大判印刷

A1判・A2判・横断幕の印刷も可能です。
▸A1判…800円
▸A2判…400円
▸横断幕（1mあたり）…1000円

断裁機、折り機、丁合機も揃っています

裁断機

最大断裁厚約200枚、断裁奥行：310mm（A4長辺）まで裁断可能です。

無料

折り機

ご希望の折り方に折る機械です。用紙サイズにより不可ありです。

無料

丁合機

複数の印刷物を頁順に並べ揃える機械です。

無料

■ イベント・団体PRなどのチラシ同封サービス

本誌「コミュｆニュース」は偶数月の１５日に富士市や静岡県下の約300箇所の団体・公共機関に郵送しております。本誌発送時にイベント情報などのチラシを同封いたします。詳しくはセンターまでお問合せ下さい。

■ 夏の会議室の利用について

コミュｆ館内の風通しをよくするため、会議室の区切りとして利用しているパーテーションの利用を最小限にしていくようお願いしています。また、特別会議室の利用に関しては、なるべく扉の開放をお願いしております。皆様のご協力お願いいたします。

■ その他のサービス

メールボックス、ロッカー、インターネット利用は無料でご利用いただけます。

その他　**ＮＰＯ設立相談、イベント支援、プレスリリースなど**　の相談を承ります

節電のご協力ありがとうございます。

コミュニティｆ
富士市民活動センター

E-mail　info@com-f.net
ＨＰ　http://www.com-f.net
開館時間　月曜ー土曜10:00～22:00
日曜・祝日10:00～17:00
休館日　9月２５日

富士市吉原2-10-20　ラクロス吉原2階
TEL 0545-57-1221 FAX 0545-57-1091

編集後記

毎日、でんき予報をチェックするようになりました。電力使用状況やピーク時間がわかりやすく記されています。また、わが家の節電プランを作成することもでき、電力使用量から15%削減できると協賛企業より提供された商品に応募ができる仕組みです。熱中症は屋外よりも屋内での発症率が高いそうです。くれぐれもエアコンや水分の控え過ぎに気をつけて楽しく節電していきたいですね。

富士市民活動センター・コミュニティｆは、ＮＰＯ法人東海道・吉原宿が指定管理者として運営を行っています

市民活動を応援するセンターの情報誌　編集・発行

コミュニティｆ
富士市民活動センター

コミュｆ ニュース

2011.08.10発行
第１８号

富士市民活動センター
コミュニティｆ
富士市吉原 2－10－20
TEL 0545-57-1221
FAX 0545-57-1091
ホームページ
http://www.com-f.net

特集●

市民活動支援補助金について

応募期間は 9/1 ～ 9/30

ホームページ　http://com-f.net/
ブログ　http://blog.canpan.info/com-f/

コミュニティｆ　検索

コラム　そこが知りたい！コラム
コミュニティビジネスのマネジメントとは？

なかま　い・ろ・ん・な・な・か・ま
NPO法人ふじPFI研究会 理事長 **中田幸次郎**氏

お願い　**アンケートのご協力**をよろしくお願いいたします。

イベントレポート　**気仙沼でのささやかな支援 市民協働懇話会・NPO協議会**

その他　市民活動支援補助金募集に際して
必勝対策講座受講生募集中!!
館内清掃します
9月25日(日)休館です

この冊子はコミュニティｆの印刷機オルフィスで印刷されてます。

市民活動支援補助金

日本再生のために様々な形で復興支援に取り組むＮＰＯや市民団体の活躍がメディアで注目されています。しかし、社会状況の変化により団体の運営には資金の問題がよりいっそう重要な課題となります。
そこで、まちづくりに貢献するための手助けになるのが「市民活動支援補助金」です。富士市では補助金を有効に活用してまちづくりの夢を実現するための応援をします。
今回の特集では、平成24年度事業に対する補助金情報をご紹介していきます。

平成24年度
補助金の募集開始は
9月1日(木)から！！

制度内容

今回の市民活動支援補助金は、平成24年度に行われる事業に対して交付されます。

交付基準（対象）

富士市内で行う事業であること。
また、一般の方を対象にした事業内容であって、参加者は不特定多数であること。
市民生活や地域のまちづくりへの貢献が期待できる市民活動であること。
＊別の公共的団体の補助金の対象となっている場合を除きます。

補助金額

対象事業費の1/2以内で、交付される補助金の**上限額は50万円**です。
＊応募があった補助金は、市が設置する審査会が審査した結果を踏まえて交付額が決定されます。

＊基本的にすべての事業終了後に精算をし、領収書などを提出した後、交付金は指定口座へ振り込まれます。そのため事業を行う際にはあらかじめ自主財源が必要です。

応募期間

書類の提出は**平成23年9月1日（木）～30日（金）**まで。
＊応募を希望する団体は、応募前に事業に関係すると思われる市の担当課と情報提供・情報交換等を行ってください。

応募資格

市内に在住、在勤、在学する5人以上の人で構成され、活動拠点が富士市内にある団体。
＊宗教・政治・営利を目的とする団体は、応募できません。

応募方法

所定の申込書（市民協働課または富士市民活動センターで配布。市民協働課のホームページよりダウンロード可。）に必要事項を記入し、市民協働課へ持参してください。
＊富士市役所市民部市民協働課
（市役所3階北側）
月曜日～金曜日（休祝日除く）
8:30～17:00　℡ 55-2701（直通）

寄付や会費を募ったり補助金制度を利用し、市民活動に弾みをつけましょう。ただし補助金を全面的に頼ってはダメ！自主財源をしっかりと確保し、その上で補助金制度を上手に活用しましょう!!

■Q＆A

Q1. 毎年、応募できますか？
A. 毎年応募できます。すでに実施した実績がある事業は、そのときの様子がわかる資料があるといいと思います。実施実績がなくても、新規事業にチャレンジする団体が応募することもできます。

Q2. 別の補助金を受給していても応募できますか？
A. 申請する「事業」が、公共団体の別の補助金を受ける予定がある場合は補助対象となりません。あくまで申請する事業について補助金を受けているかだけなので、応募団体が他の事業で補助金を受給することは構いません。

Q3. ヒアリングでは、どのようなことを聞かれるのですか？
A. 補助金交付の対象となる事業の内容や団体の概要等を具体的にお話していただきます。事業内容をあらかじめ要領よく説明できるようにまとめておいてください。

必勝対策講座受講生募集中！

●市民活動支援補助金　**申請書書き方講座**

【日　時】8/26(金)　19:00～21:00
9/　3(土)　13:00～15:00
＊内容は同じです。

【場　所】富士市民活動センター
コミュニティｆ

【定　員】各日程　20名

■お問合せ･お申込み方法（要予約）
富士市民活動センター　コミュニティｆ
TEL･･･ 0545-57-1221
FAX･･･0545-57-1091

■手続きの流れ

初めて行う方は
必勝対策講座へ！

「広報ふじ」、「市ウェブサイト」で公募のお知らせ
【8月5日（金）～】

↓

申請書配布　富士市役所市民協働課ホームページよりダウンロード、もしくは市民活動センターにて配布。

↓

書類の提出　応募書類を市民協働課に提出。
【9月1日（木）～9月30日（金）】

↓

ヒアリング　説明や質問応答を含めて、15分程度の面接を市役所にて行います。
【10月中旬】

↓

選考・書類審査　補助を受ける条件をクリアしているか、また公益性、必要性、独創性、将来性、実現性、有効性を審査します。

↓

交付内定　補助金の交付内定。
「申込書審査結果の内示」で各団体に通知。
【平成24年2月上旬】

補助金有効活用
私たちはこのように使っています！

～『障害者自立生活センター チャレンジド･ふじ』望月 亜矢子さんに伺いました～

●いつ市民活動支援補助金を受給しましたか。
―― 平成19年度、20年度、21年度の3年間、市民活動支援補助金を受給しました。

●申請額と実際の受給額を教えて下さい。
―― 申請額は50万円で受給額は30万円でした。

●どのような目的で申請されたのですか。
―― 障害者自立支援活動補助金として私たち「自立生活センター」で欠かせないピア・カウンセリング講座と自立生活プログラムで活用させていただきました。

●これから申請する方にアドバイスをお願いします。
―― 平成20年度からは、補助金とは別に市から委託事業（委託金）をいただくことができ活動が活発になってきました。補助金での事業が必要な活動だと市に認められると委託事業に変わっていくこともありますよ。

イベントレポート

NPO　EXPO　［気仙沼でのささやかな支援」

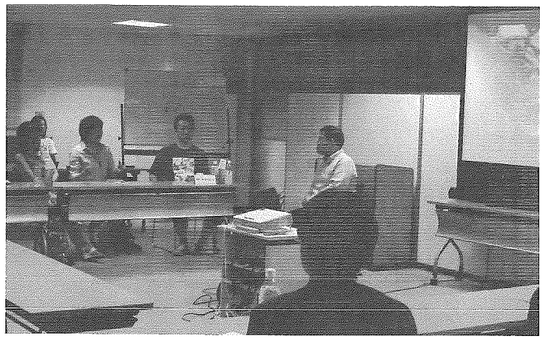
6月29日(火)に行われたNPO　EXPO「気仙沼でのささやかな支援～だれにでもできることがある～」では、NPOや市民団体の関係者をはじめ、参加者約30人が被災地支援について考察しました。

前半は、NPO法人ゆめ・まち・ねっとの渡部達也さん・美樹さん夫妻を迎え、東日本大震災の被災地でのボランティア体験についての報告がありました。今回の体験で、被災地の様子、現地の人との交流で感じたこと、ボランティア支援本部の状況等を現地で撮影した画像を交えながら説明していただきました。

その中で達也さんは「がれきの山は現地の人たちの日常の暮らしや夢が詰まっていた」と、胸を締め付けられた思いで惨状を目の当たりにしたこと、そして人と人のつながりの重要性も伝え、「つながっていることが大事で、NPOや市民活動は普段の活動でつながりをつくることが大事と感じた」と話しました。

後半はNPO協議会の荻野幸太郎会長(NPO法人プラットフォーム静岡代表)の進行で、意見交換が行われました。

報告会参加者の中には、実際に被災地へ支援に行った方もおり、実際に現地を訪れてみると、必要な支援物資が日々変化していたり、ボランティアで来た人を取りまとめる人が不足していたり、報道だけでは知ることができない、様々な問題点などが挙げられました。また、「東北の人は、支援物資はもちろん、ボランティアに来てくれるという気持ちがとてもうれしい。それががんばろうという力になっている」という温まる話も聞かれました。

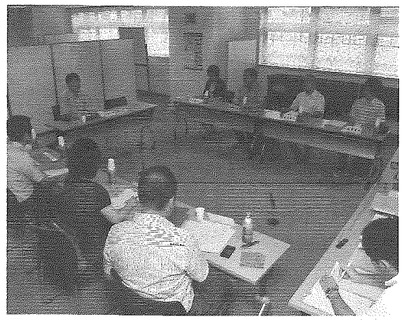


実際に被災地に訪れると、報道されているのとは違う被災地の現状があることや、富士市にいながらできる支援に取り組んだ事例も報告された。

市民活動に関連しては、普段の活動しているテーマが被災地では切実なニーズになっていることや、東海地震に備えて県外NPOや全国組織とのつながりを持つ必要性なども話し合われました。

市民協働懇話会行われる

7月21日(木)、富士市民活動センターコミュニティfにて富士市市民協働懇話会の本年度第1回会合がが開催されました。市民団体代表者、市民公募委員、知識経験者らが出席、議題のなかで、富士市市民活動推進条例の素案が示され、条例制定の目的や市や市民団体の責務などの、条文の具体案などが掲げられました。このほか市民活動支援補助金の交付網の案等が示され、同要網の新設に向けた提言をまとめていきました。



写真撮影：富士ニュース社

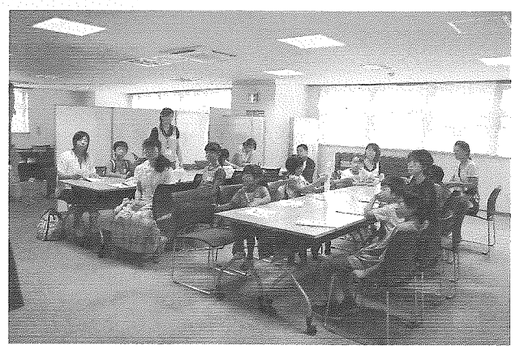
NPO協議会開催

8月8日(月)コミュニティfにて、「富士市NPO協議会　平成23年度総会」が開催されました。はじめに出席者22名（うち富士市職員4名)により総会成立が報告されました。議事審議に入り、平成22年度の事業及び会計の報告、今年度の新役員の選出が行われました。引き続き23年度会計予算の審議に移り、これら全議案は賛成多数で承認され、総会は終了。次回NPO協議会は、昨年度に続き会長に選出された荻野幸太郎氏(NPO法人プラットフォーム静岡代表)を中心に、「新しい公共」についての勉強会を開催する予定です。

親子市政教室

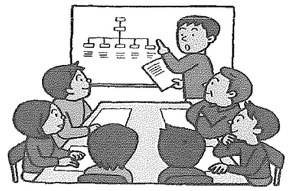
ようこそ！コミュエフへ

7月26日(火)、親子市政教室の10組20名の参加者が来館されました。今回は、「東海大地震発生！～富士市が被災したらどうなっちゃうの？～」をテーマに、防災災害庁舎をはじめ、 親子で防災について学べる公共施設を見学しました。コミュニティｆで昼食をとった後は、社会福祉協議会や災害対策本部室などを回まわり、災害ボランティアや救急の仕事などについて学びました。



そこが知りたい！

コラム vol.14 「コミュニティビジネスのマネジメントとは？」



前号でコミュニティビジネスは他の地域や組織と協働することでネットワークが広がり提供できるサービスも深まる内容をお知らせしました。今回は事業展開する上で大切なマネジメントのポイントに注目してみます。

◆マネジメントは計画づくり→実践→振り返りと修正の一連の流れを繰り返しすすめていくことです。

目的が明確になったら現在の状況をとらえたうえで５Ｗ２Ｈ(いつ・どこで・だれが・だれに・なにを・どのように・なぜ・いくらで)を意識して活動の道筋を整理することが重要です。次にターゲットの選定ターゲットにどのようなサービス・商品をどのような提供方法でいくらで提供するかを整理することも必要です。これらを上手く運営するには**人と組織の存在**が重要です。そのためには一緒に働くメンバーとボランティアとサービスを利用するターゲット(顧客)の協力により運営されるので、**ルールと役割分担**は明確にしていく必要があります。

◆ポイント◆

・「自分がやる」という自覚と意志を立てること、活動を通して信頼関係をつくる、想いを形にする小さな成功体験を積み上げる。

・目の前の小さな事を丁寧にやる、何をやらないかを見定める、まず実践・チャレンジが大切、成功、失敗は考えすプロとしての自覚を持つ。

・譲れない想いを大切にし、やる気のある人・組織と一緒に行う、受けた恩は必ず返す。

など持続的な関係を構築し関わる多くの人がそれぞれにメリットを享受できるような配慮が必要です。

い・ろ・ん・な・な・か・ま

地域で活躍する市民団体を紹介します

今回は、健康増進・体力増強のための新しい健康法として注目をされている『フィットネス・ポールエクササイズ』を考え、推奨し、普及活動を行っている「ＮＰＯ法人 ふじＰＦＩ研究会」の中田さんにお話を伺いました。

Q.ふじＰＦＩ研究会はどのような経緯で設立されたのですか？

平成13年頃、地域への思い入れの強い方々10名位が定期的に集まり、富士地域をもっと活性化するには市民レベルでどう考えるかという議案で、各分野で活躍している企業・個人経営者、市・県OB、議員、税理士など多職種の専門家、一般市民から自由参加で話し合いを行っていました。当時の課題は、田子の浦港のカーフェリー発着地が清水港に移転したことでその跡地再開発をどうするか、産業廃棄物燃焼炉の調査研究、富士宮にある県高等農業学園跡地の有効活用、市民の健康増進向上の視点から中小企業団体の会員対象で健康調査（報告書作成）及び大渕地区「健康とスポーツと憩いの地域」（ウエルネスゾーン）として総合開発するためのアンケート調査（富士常葉大学と共同報告書の作成）など具体的な成果を出し、県・市などに提言をしました。

数年間意見交換をしている中で平成15年12月に「NPO法人ふじPFI研究会」として認証を取得しました。本会は、民間の有する資本、創造力、技術力、経済力、管理運営等をPFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）手法により、社会資本の充実や産業振興を図ることを目的にスタートしました。

Q.具体的にどのような活動をされていますか？

課題１：まちづくり分科会

まちづくりの推進を図るための調査研究事業を実施しています。昨年は、当地を拠点に世界的に活躍している「鬼太鼓座」の支援の中で、大阪府立高校の修学旅行生320名を受け入れ、地元企業の協力で体育館での太鼓演奏体験の支援をしました。

課題２：産業振興分科会

地域の産業振興を図るための異業種交流会、ビジネス交流会などを隔月実施し、幅広い人脈を求めて経営者や起業家のビジネスチャンスの場を提供しています。また、多くの人材が企業の最前線から退く問題に対しても、有能なOB人材活用を図るための支援活動を行っています。

課題３：健康増進分科会

市民の健康増進・体力増強を図る目的で6年前から毎月第2、第4土曜日、午前10時より2時間、会場を富士総合運動公園にある陸上競技場（会議室）又は富士常葉大学（多目的演習室）でポール講習会（フィットネス・ポールエクササイズ）を開催し指導しています。現在継続して97回を数え、毎回約30名の市民が参加し楽しく交流しています。

Q.フィットネス・ポールエクササイズについて詳しく教えてください。

ポールを使った正しい「フィットネス・ポールエクササイズ」と通常ウォーキングとの違いは、①足腰への負担の軽減 ②上半身を使う全身運動 ③背筋が伸び正しい姿勢のウォーキング ④大きな歩幅の安定したウォーキング ⑤通常ウォーキングと同じ速度で歩くとエネルギー消費は10～20%増加するなど、特に本ポール（富士山すこやかポール）は機能性が高く、ウォーキング以外にストレッチ、エクササイズを室内で行えることが特徴です。足腰を鍛えることで心肺能力を高め、生活習慣病、運動器（ロコモ）障害の予防効果が期待されます。

また、研究所・大学・専門学校・病院と幅広い機関が共同で運動効果を科学的に検証しながら調査研究を行い、子どもから高齢者までユニバーサルデザインを考えて指導を行っています。

使用方法は当研究会で頒布しているテキストブック（800円／冊）を参照してください。ポールの価格は6,700～8,800円／2本セット です。

Q.今後、どのような会にしていきたいと考えていますか？

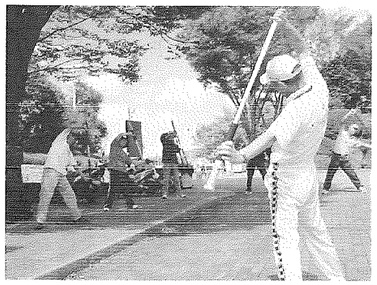
上記３つの分科会を其々積極的に進めながら、一方では連携をとりながらお互い新しい方向を模索したいと考えています。会員増強も視野に入れ、広報活動、市民団体のネットワーク等を通じて、住民が誇りを持って働き、暮らしていける環境づくりに寄与したいと思っています。

NPO法人ふじPFI研究会

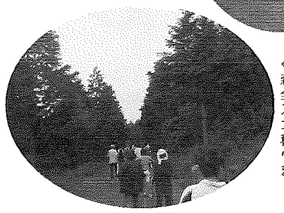
理事長 中田幸次郎さん

■プロフィール■
富士テクノサポート（工業技術コンサル事務所）代表。ふじPFI研究会の理事長として、富士市活性化と市民の健康を願い、自らも毎日10㌔のポールウォーキングを楽しむ。

URL■ http://www.keihidown.com/pfi/



→7/30（日）富士山こどもの国にて開催された、「フィットネス・ポールエクササイズ講習会」。大人から小人まで約35名が参加しました。



←健康増進と森林浴をかね、全長3㌔のクロスカントリーコースを1時間程かけ、ポールウォーキングしました。

講習会参加者の皆さんと記念写真

―― ありがとうございました。

市民活動団体からの催事・お知らせ

掲示板

講演

〝富士発・女と男のフォーラム〟

子どもたちに伝えたい　食べることの大切さ８

おすすめ！富士市のおいしい野菜

■日　時：平成23年９月4日（日）
13：30～15：30

■場　所：フィランセ西館 4階大ホール
（富士市本市場432-1）

■内　容：●13：00～
お父さんも楽しめる！野菜当てクイズ
●現場からのお話
山岡 徳次さん（大渕第一小学校栄養士）
杉澤 佳巳さん（富士中央青果総務部長）
●教えて！給食人気メニュー（レシピ付き）
●おすすめ　野菜情報
●フリートーク

■参加費：無料　＊無料託児あり、要予約（～8/23）

■申込み：どなたでも参加できます。当日、直接会場へお越し下さい。お父さんもぜひどうぞ！

きらり交流会議・富士市学校給食を考える会
TEL・FAX 0545(53)6627（小櫛 和子）

募集

富士山の麓
特定非営利法人　富士山クラブで、共に学ぼう！！

森林保全・林業従事者育成科
実践演習コース　10名

■日　時：平成23年9月30日（金）
～12月22日（木）
9：00～15：50
＊休校日：原則として土・日・祝（例外あり）

■場　所：NPO法人 富士山クラブ　静岡事務所
（富士宮市山宮3645-166）

■内　容：富士山麓のフィールドにて、森林保全関連や林業分野の就職に必要な知識と技術を学びます。

■対　象：・林業に従事する意思のある方で、環境保全関連業務に関心のある方。
・パソコン基礎能力（ワード・エクセル）があること。

■受講料：無料（テキスト代 ¥5、250がかかります。）

■申込み：詳細は、ホームページまたはコミュニティｆに設置のチラシをご覧ください。

NPO法人 富士山クラブ 静岡事務所
TEL 0544(58)9120
URL：http://www.fujisan.or.jp

NPO支援助成金情報

＊時間の経過に伴い、情報が更新されている場合があります。詳細は、センターHPまたはスタッフまでお尋ね下さい。

助成制度名	カテゴリ	実施団体	応募締切
福祉拠点の整備	福祉・リフォーム	日本財団	8/31
第8回　One by Oneこども基金　NPO奨励賞　募集	子ども・障害・東日本大震災	日本アムウェイ合同会社 社会貢献グループ	8/31
パタゴニア　環境助成金プログラム	環境	パタゴニア日本支社	8/31
平成24年度　NFD　one leaf fund	環境	公益社団法人　日本フラワーデザイナー協会	8/31
第15回（平成23年度）保健活動助成	健康	財団法人　千代田健康開発事業団	8/31
平成23年度「住民参加型まちづくりファンド支援事業」	まちづくり	財団法人　民間都市開発推進機構	8/31
平成23年度　チャリティプレート助成金	福祉	特定非営利活動法人　日本チャリティプレート協会	8/31
あなたの活動の輪を広げませんか？　「子どもたちの〝こころを育む活動〟全国大賞」	子ども・子育て	公益財団法人　パナソニック教育財団	9/30
第7回　TOTO水環境基金	環境	TOTO株式会社	10/10
ふじのくにNPO活動基金	社会貢献	FNCふじのくにNPO活動センター	通年
災害ボランティア・NPO活動サポート募金	東日本大震災	中央共同募金	通年